

平成30年度 第1回

京都府独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会開催概要

- 1 開催日時 平成30年7月17日(火) 10:00~12:00
- 2 開催場所 京都支部京都職業能力開発促進センター 本館3階 大会議室
- 3 議 題
 - (1) 平成29年度事業実績
 - (2) 平成30年度事業計画及び進捗状況
 - (3) 近畿職業能力開発大学校京都校部会の開催報告

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、意見交換が行われた。

各委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・ポリテクカレッジにおけるオープンキャンパスの実施状況について、平成29年度は平成28年度と比較して、参加者が大きく減少しており、舞鶴市との協力体制が従前どおりに行われているのだろうかと危惧される。また、分野によって違いはあると思われるが、一般的に専門学校では4、5、6月がオープンキャンパスの正念場であり、この時期にどれくらいの参加があるかで、翌年度の入学生に大きく影響してくる。逆に夏休みになると高校2年生の方の参加が多い状況である。一方、ポリテクカレッジにおいては、4、5月のオープンキャンパスの開催がない状況であることから、現状打破を考えるのであれば、回数及び開催時期の検討が必要ではないか。
- ・機構においては、離職者訓練における女性受講生の受講割合の向上が非常に重要ではないかと考えており、そのための取り組みを充実させていただきたい。
- ・中小企業団体の組織では、人手不足が深刻な問題となっており、離職者訓練における就職率がなかなか上がらないことに疑問がある。ハローワークやジョブパークとの連携が基本になると思われるが、まず修了生を企業に確実に送り込めるような、システムを考えていただきたい。
- ・ポリテクカレッジでの訓練は、十分に時間数も確保しており、学生も非常に雰囲気が良いという印象を受けている。よって、オープンキャンパスで売り込むだけでなく、ポリテクカレッジに足を運ばなくても良さを伝える宣伝の仕方を工夫してはどうか。
- ・過去に、外国人の訓練生について質問をしたことがあるが、今や国を挙げて外国人の方も採用していかないと日本の企業は衰退していくといった状況になっている。外国人のレベルも高度技能者、中間労働者、単純労働者に分かれており、大企業でグローバル化している企業は独自で外国人労働者を採用している。中小企業を対象としたものとして、一部の自治体において外国人留学生採用支援事業に取り組んでいるが、中小企業では言語の問題もあり、採用に至らない状況である。例えば留学生で日本での就職を希望している学生をポリテクセンターで職業訓練を実施し、企業へ送り出すなど施設独自で実施できることではないとは思いますが、今後検討していただきたい。

平成30年度 第1回 京都府独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会 委員名簿

(敬称略)

氏 名	所 属 及 び 職 名
《 会 長 》 富 田 安 信	同志社大学 社会学部産業関係学科 教授
山 内 康 敬 〔 欠 席 〕	株式会社京都新聞社 代表取締役社長
公 江 辰 朗	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事
松 山 裕 二	日本労働組合総連合会京都府連合会 副会長
廣 岡 和 晃	日本労働組合総連合会京都府連合会 事務局長
石 津 友 啓	京都経営者協会 専務理事
植 村 章 弘	京都府商工会議所 会員部・部長
高 石 佳 文	京都府商工会連合会 専務理事
山 口 靖 弘	京都府中小企業団体中央会 理事・事務局長
渡 邊 朋 之	厚生労働省 京都労働局 職業安定部長
小 瀬 康 行	京都府 商工労働観光部 人づくり推進課長
井ノ上 良 浩	長岡京市 環境経済部長